

第471号 2019年4月16日
弘前大学総務部総務広報課

学内掲示板

弘前大学出版会から新刊のご案内

○教育学部教授 高瀬雅弘 編著『人と建物がひらく街の記憶—山形県鶴岡市を訪ねて(2)—』(A5判, 196頁, 定価3,780円:税込)を出版しました。

～紹介文～

近世から近代へと移行する, 激動の時代の生きた歴史が今も息づく山形県鶴岡市。

暮らす/訪れる人びとに「開かれた」建物や街並み, 新たな時代を告げる文明「開化」の象徴, 大地を「拓く」努力と奮闘を伝える場所を訪ね, 今後の歴史まちづくりに向けて「開かれる」可能性を探りました。青森県弘前市の大学生が, 鶴岡市の人びとをめぐる豊かな物語に出会い, それらを綴るシリーズの第二弾。

絵葉書や古写真も数多く収め, 現在の姿と対比しながら, 街の移り変わりをたどります。

2018年に認定された日本遺産「サムライゆかりのシルク」の構成文化財のひとつであり, 同年のNHK大河ドラマの「西郷どん紀行」でも紹介された, 西郷隆盛と菅実秀の「徳の交わり」ゆかりの地, 松ヶ岡開墾場も収録。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

○青森県スポーツドクターの会/

弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座 編集

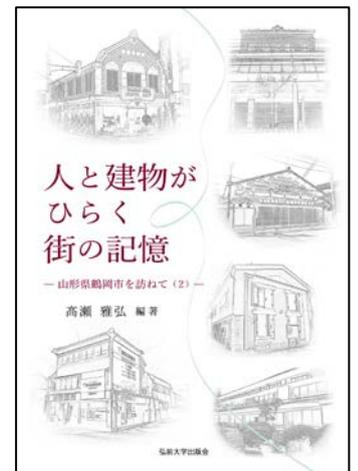
青森県高等学校野球連盟 監修

『野球検診手帳』(A5判, 58頁, 定価378円:税込)を出版しました。

～紹介文～

この手帳はスポーツ医学の専門家が, 成長期の野球選手に必要な医学的な情報を多岐にわたり分かりやすく解説しています。正しいトレーニング方法やケガへの対処方法, スポーツ選手の食事や栄養, 「野球肘検診」の意義などが理解できます。

成長期に生じる肘の障害に対して正しく対処することは, 将来にわたって野球を続けるために必要不可欠です。「野球肘検診」で早期に発見し対応すれば, 手術をせずに直すこともできます。この手帳は肘検診の記録簿ともな



っており、選手・指導者・医療者間での具体的で正しい情報の共有がスムーズにできるようになっています。

選手自身が自分の身体を守り、楽しく安全に野球が続けられるように、この手帳を活用していただきたいと願っています。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

イベントのお知らせ

弘前大学大学院人文社会科学部 修士論文中間報告会（FD公开发表会）開催のお知らせ（再掲）

・日時

2019年4月24日（水） 14:30～18:10

・会場

人文社会科学部棟4階 多目的ホール

・内容

人文社会科学部（修士課程）の大学院生の研究発表

一発表者と発表題目一

・佐藤 光磨（指導教員 平井 太郎）

「弘前市における除雪施策の展開」

・張 青（指導教員 平井 太郎）

「中国の集合住宅における高齢者の現状についての研究—北京市の高齢者が住む集合住宅を研究対象として—」

・加藤 航世（指導教員 武井 紀子）

「「北の押さえ」としての中近世北東北の歴史的特徴」

・高橋 厚史（指導教員 澤田 真一）

「帰還兵と貴婦人の交錯—戦争，帝国主義，愛—」

・趙 晶潔（指導教員 日比野 愛子）

「Performance in selfies activities: Focusing on the gender differences and its expressions.」

・樊 美艶（指導教員 尾崎 名津子）

「飼われる男のジェンダー・アイデンティ—岡本かの子「老妓抄」をめぐって—」

・齋藤 理寿（指導教員 片岡 太郎）

「Reflectance Transformation Imagingの考古資料研究への応用と進展」

・趙 雨薇（指導教員 山田 巖子）

「中日人形祭礼の比較研究」

弘前大学大学院
人文社会科学部 修士課程
Hirosaki University Graduate School of Humanities
and Social Sciences
学問の深奥を究め、高度職人を育てる

修士論文中間報告会 (FD公开发表会)

日時 2019年4月24日(水)14:30～18:10 (終了予定)
場所 人文社会科学部4階多目的ホール

～プログラム～

14:30	開会の辞
14:35～15:00	弘前市における除雪施策の展開 佐藤 光磨 (指導教員 平井 太郎)
15:00～15:25	中国の集合住宅における高齢者の現状についての研究 —北京市の高齢者が住む集合住宅を研究対象として— 張 青 (指導教員 平井 太郎)
15:25～15:50	「北の押さえ」としての中近世北東北の歴史的特徴 加藤 航世 (指導教員 武井 紀子)
15:50～16:15	帰還兵と貴婦人の交錯—戦争、帝国主義、愛— 高橋 厚史 (指導教員 澤田 真一)
16:15～16:25	休憩
16:25～16:50	Performance in selfies activities: Focusing on the gender differences and its expressions. 趙 晶潔 (指導教員 日比野 愛子)
16:50～17:15	飼われる男のジェンダー・アイデンティ —岡本かの子「老妓抄」をめぐって— 樊 美艶 (指導教員 尾崎 名津子)
17:15～17:40	Reflectance Transformation Imagingの考古資料研究への 応用と進展 齋藤 理寿 (指導教員 片岡 太郎)
17:40～18:05	中日人形祭礼の比較研究 趙 雨薇 (指導教員 山田 巖子)
18:05～	閉会の辞

事前申し込みは不要です。ぜひご参加下さい！
主催：弘前大学大学院 人文社会科学部

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。

※入場無料、事前の申込は不要です。

- ・問い合わせ先
弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当
TEL：0172-39-3941
E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学研究・イノベーション推進機構 弘前大学創立70周年記念リレー学術講演会

「過去・現在・未来への創造」 第二回「宇宙の魅力」開催のお知らせ（再掲）

弘前大学における研究成果を専門外の方々にわかりやすく発信し、学術研究を通じた地域との交流と対話の場として、下記のとおり「弘前大学創立70周年記念リレー学術講演会 過去・現在・未来への創造」を開催します。

研究成果だけではなく、その研究を志したきっかけや研究者自身の生き様にせまる内容を提供いたします。大学と地域、弘前と世界、過去と現在から未来へと紡ぐ意味を込めた、全5回からなるリレー形式での講演会です。

第二回目は、「宇宙の魅力」と題し、非日常的な現象の面白さについて講演します。

皆様の御参加をお待ちしております。

- 日 時：2019年5月11日（土）14:00～15:30
- 会 場：弘前大学附属図書館2階 オープニングラウンジ
（先着40名 ※要申込）
- 講 師：弘前大学理工学研究科 教授 浅田 秀樹 氏
- 演 題：第二回「宇宙の魅力」
- 対 象：一般の方、教職員、学生
- 申 込：団体名・所属・役職・氏名を記載の上、以下の電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。
- 申込締切：2019年4月26日（金）
（ただし、定員を超えた場合は申込みを締め切らせていただきます。）
- 入場料：無料

【問い合わせ・申込み先】

弘前大学 研究・イノベーション推進機構
TEL：0172-39-3907 E-mail：kensui@hirosaki-u.ac.jp
H P：<http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/>

平成31年度弘前大学大学院人文社会科学研究所 市民カレッジ受講生募集のお知らせ（再掲）

- ・ 受講資格
4年制大学を卒業した方
- ・ 受講料
1科目あたり11,500円
- ・ 青森教室の開講科目及び日時

	授業テーマ（科目名）	担当者	開講時間	申込締切日
前期	青森地域企業の経営戦略 （地域企業）	保田宗良 黄孝春 大倉邦夫 熊田憲	4/13（土）10：20～17：30 4/14（日）10：20～17：30 4/20（土）10：20～17：30 4/21（日）10：20～15：50	3/29（金）
	歴史から見た欧米地域 （欧米地域学）	奈蔵正之 中村武司 齋藤義彦 南修平	6/22（土）10：20～17：30 6/29（土）10：20～17：30 7/06（土）10：20～17：30 7/13（土）10：20～17：30	5/31（金）
後期	地域の経済と政策について 考える（地域経済）	大橋忠宏 細矢浩志 金目哲郎 児山正史	10/ 5（土）8：30～15：50 10/12（土）8：30～15：50 11/ 2（土）10：20～15：50 11/ 9（土）10：20～17：30	9/27（金）
	具体的に哲学すること （倫理学）	横地徳広 原克昭	10/12（土）10：00～17：50 10/13（日）10：00～17：50 10/19（土）10：00～17：50 10/20（日）10：00～17：50	9/27（金）

- ・ 会場
弘前大学青森サテライト教室（〒030-0813青森市松原2-1-3 地域戦略研究所 北日本新エネルギー研究部門内／棟方志功記念館の隣）

- ・ 申込方法
問い合わせ先に連絡してください。受講申込書などをお送りします。

- ・ 青森教室のシラバス及び弘前教室の詳細は、人文社会科学研究所ホームページ（市民カレッジ）をご覧ください。

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/jinbun/web/daigakuin/sidenav/acomorisatellite.html>

- ・ 問い合わせ先
弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当
TEL：0172-39-3941
E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

**平成31年度弘前大学大学院
人文社会科学研究所市民カレッジ
受講生募集のお知らせ**

弘前大学大学院人文社会科学研究所は、地域社会の課題や国際社会の変化に対応できる高度専門職人材の養成を目的としています。社会のみならず、人文社会科学領域にも市民カレッジで学びたいという希望に応じ、活動の場を設けます。

【市民カレッジの特色】
 ◎青森県内と弘前市内で大学院の授業科目を受講することができます。
 ◎オンラインコースや少人数講座があります。
 ◎学位の取得を目的とせず、知識・技能の習得を目的とする講座です。
 ◎受講料の軽減が、大学院入学者、正課の単位に振り替えることができます。
 ◎大学院の基礎的科目（倫理学、現代社会・地域経済）を受講できます。
 ◎4年制大学を卒業した方であれば、さらにも受講できます。
 ◎受講料は、科目別、5000円です（入学者・院生は別途定額を徴収します）。

【青森教室の開講科目】
 ◎青森県内で、土曜日・日曜日の中心に集中講義の形で開講します。平成31年度は、以下の授業科目を準備しています。
 ・「青森地域企業の経営戦略」(地域企業)
 ・「歴史から見た欧米地域」(欧米地域学)
 ・「地域の経済と政策について考える」(地域経済)
 ・「具体的に哲学すること」(倫理学)

【弘前教室の開講科目】
 ◎弘前大学サテライト教室で、通常の大学院の授業科目を通常の大学院生と同様に受講していただくことができます。
 ◎高度科目・導入科目・特設講座から受講できます。
 ◎当教員と相談の上、夜間や土曜日に授業を受けることができます。

※開講日程、会場、開講科目の詳細は、ホームページ「弘前大学大学院人文社会科学研究所」(<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/daigakuin/index.html>)をご覧ください。

【申し込み締切日】
 各科目の申込は要項にてご覧下さい。

【申し込み問い合わせ先】
 弘前大学人文社会科学部教務担当
 TEL 0172-39-3941 FAX 0172-32-3349 Mail jm3941@hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来、平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。

創立70周年に際して、国際化や男女共同参画の推進、学生支援の充実など、主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

については、多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが、創立70周年記念事業を成功させるため、更なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、創立70周年記念事業のホームページでは、クレジットカードによる寄附も可能でございますので、ご活用いただければ幸いと存じます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/70th.html>

○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。

右記URLからご覧いただけます。 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第52号」では、「発見！国立大学」において、内閣府「日本オープンイノベーション大賞」を受賞した弘前大学C O Iの取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第52号」

<https://www.janu.jp/report/koho/52gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<https://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029